



きらめき 串木野っ子

(校訓)
よく考え、
明るくすなおで、
がんばる子

令和4年度 1月号
串木野小学校学校便り
令和5年1月24日発行



失敗から乗り越える術を！

校長 常山 隆治

新年を迎え二十日程が過ぎました。今年の卯年は、うさぎの跳躍する姿から「飛躍」「向上」の年、また、「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われているようですので、一人一人が自分の夢や目標をしっかりともち、達成できるように努力することを願っています。

話は変わります。「禍福は糾える縄の如し」

これは、災いと幸福、成功と失敗は縄のように表裏一体で、めまぐるしく変化するものだということをとえた諺です。

普段の生活を思い返してみると、確かにうなずけます。例えば、いつも「よいこと」ばかりが続かないように「悪いこと」ばかりも続きません。そして、「悪いこと」だと思っても、それがきっかけとなり、以前より事態が好転することも少なくありません。

この諺を、「『よいこと』と『悪いこと』は常に隣り合わせ。『よいこと』があっても、大いにはしゃいだりせず、その後に備えて身を慎み、『悪いこと』が起きて、激しく落ち込んだり、自暴自棄になったりせず、やるべきことを直向きにやり遂げていくこと。つまり、その時々状況に一喜一憂することなく、平常心でいること。そして、為すべき事を為していくことの大切さを教えてくれている。」と解釈しています。

さて、子どもたちがこれから生きていく社会では「様々な問題について、身の回りの人・もの・ことと折り合いをつけたり、知識・技能等を活用したりすることで解決しながら、よりよい社会を創造しようとする態度」が求められていると考えています。また、どんなに知識・技能等を身に付けたとしても、周りの人のため、社会のために活用しなければ、努力した価値は報われないのではないのでしょうか。

では、私たち大人がどのように関われば、子どもたちは身に付けた知識・技能等を活用できるのでしょうか。

これまでに授業参観中での一場面の出来事です。ある事象に対して説明する子どもがいました。しかし、その説明に対して「分からない」と、か細い声で呟く子どもがいました。もし私だったらつい「～だから～でしょう。」と言い換えてまとめていたかもしれません。しかし、その学級の教師は「〇〇さんは分からないと言っているよ。どうする?」と、学級全体へ問い返しました。すると、「だったら、僕が説明するよ。」と言い、その子なりの身に付けた知識・技能等を活用しながら説明し始め、最初に発表した子どもの学びともなり、頼もしい表情をしていました。

私たち大人は問題にぶつかった子どもを見ると、つい「できるようにさせなくては」と「成功体験」を重視しがちです。しかし、簡単には解決できない状況（失敗体験）こそが、子どもにとって本当の問題意識と「解決したい」という思いを生み、その思いが、身に付けた知識・技能等を活用させるのではないのでしょうか。したがって、私たち大人は「子どもたちに大いに失敗も体験させ、それを乗り越えるための術を体得していくよう」に関わる必要があると考えます。

2月5日(日) PTAリサイクル活動を計画しています。ご協力よろしくお願いします。

3学期スタート

3学期の始業式にあたり、2人の児童が冬休みの思い出や今後の目標を発表しました。

2年生の石野葵咲陽さんは、冬休みに祖母宅で山登りに行き、椎茸の収穫をした思い出を語ってくれました。大晦日には除夜の鐘をつきに行ったそうです。3学期は、なわとび大会に向けてがんばるという目標を立てました。

6年生の有馬優里さんは、冬休みに子ども大学に参加し、海外からの留学生との交流を楽しみました。外国の文化を知ることができ、日本のことをもっと世界の人に発信できるとよいと思ったそうです。いよいよ小学校生活の締め括りを迎える3学期を迎え、仲間とよい思い出を作りながら卒業までの日々を大事にしたいと決意を語りました。

1年間をまとめる3学期、全校児童が健康で楽しく学校生活を送り、卒業、進級の日を迎えられるように励ましていきます。

学校評価集計より (R4. 12月実施)

<地域の方より 4段階評価の平均>

- | | |
|-------------------|-----|
| 1 学校便り等による広報 | 3.2 |
| 2 地域・保護者の信頼に応える教育 | 3.1 |
| 3 子供たちが毎日楽しく登校 | 3.3 |
| 4 子供たちのあいさつ | 3.4 |
| 5 素直で健全な子供の育成 | 3.3 |
| 6 子供の地域行事への参加 | 3.0 |
| 7 本校職員の気持ちのよい対応 | 3.1 |
| 8 子供たちの安心・安全の確保 | 3.3 |
| 9 学校と家庭・地域との連携 | 3.3 |
| 10 特色ある教育活動の推進 | 3.1 |

おおむねよい評価をいただいていると考えますが、串木野小の特色を生かした地域と連携した教育活動、安心・安全への配慮等については、一層努力していきます。

<保護者より 4段階評価の平均>

- | | |
|------------------|-----|
| 1 学年に応じた家庭学習時間 | 2.6 |
| 2 家庭でのあいさつ | 3.4 |
| 3 携帯やスマホの約束を守る | 2.8 |
| 4 歩いて登校 | 3.4 |
| 5 早寝・早起き | 3.0 |
| 6 TV・ゲーム等の9時オフ厳守 | 2.9 |
| 7 学校や担任との連携 | 2.9 |
| 8 参観やPTA等への参加 | 3.2 |

家庭学習時間の達成については今後も声かけをお願いします。情報端末の使用については、家庭での約束を守らせ、生活習慣に影響がないように見守ってください。

学校評価 保護者自由記述欄に寄せられた意見より(抜粋)



- 学力だけでなく、優しさや思いやりを育て、一人一人にしっかり寄り添う教育を大事にしてほしい。
- 児童や保護者との信頼関係を築きながら、よりよい学校にするための努力が不十分である。学級PTA等の機会を利用して話し合うべきである。
- 今年度の運動会の一斉開催はうれしかった。
- 人間関係が難しいと感じた。生活の大きな部分を占める学校生活の対人関係(先生方も含めて)が、もっとポジティブな関係を作れることを望む。
- 子どもの様子が保護者に伝わりにくい。学校との関係が希薄に感じられる。
- 家庭環境や子どもについての評価だけでなく、学校や職員についての評価も実施したらよいのではないか。

他にも貴重なご意見をいただき、職員会議でも話題としました。保護者の皆様からの声は、学校に対する期待の表れ、励ましであるととらえ、改善すべき点はさっそく改善していきます。児童や保護者との信頼関係を一層築いていくことができるように努めてまいります。

安全面について以下のようなご意見もいただきました。

- お迎えの車の決まりをしっかりとされた方がよい。プール側に駐車となっているが、校舎の近くに停まっている車もある。児童の安全、グラウンドの保護という点を意識してもらうためにも、駐車スペースの表示も検討してほしい。
- 登校時に児童を送る車で、学校前の県道が混雑する状況が見られる。交通事故防止のためにも、県道付近、正門前、シスター美容室前などでの児童の乗り降りをしないというルールを保護者全体で共通理解し、徹底したい。

2月の行事予定

- | | | | |
|--------|--|---|---|
| 1日(水) | 串中・西中入学説明会(6年生) |  |  |
| 3日(金) | 串木野小新入学児保護者説明会 (1・2年生は3時間授業) | | |
| 5日(日) | PTAリサイクル活動 | | |
| 10日(金) | 県小学校道徳教育研究大会(本校) ※1の2, 6の2で公開授業 他学級は3時間授業
串中・西中校区合同家庭学習強調週間 (2月16日まで) | | |
| 15日(水) | 薩摩藩留学生記念館 日本遺産麓地区見学6年1組 (2組16日, 3組17日) | | |
| 17日(金) | 第4回学校運営協議会 | | |
| 24日(金) | 授業参観・学級PTA ※4年生は午前中に、学級ごとに「10才のありがとう会」
家庭教育学級 | | |
| 26日(日) | PTA奉仕作業 | | |